

転地学習2019

生徒目標

友情徹底～一步一步を着実に～

実行委員メッセージ

友情徹底？何だろう？いまいちピンときていない人もいると思います。この目標には、今回の転地学習をきっかけに新しい友だちを作ろうという意味だけではなく、今までの友だちともさらに友情を深めてほしいという思いも込められています。

これからの中学校生活の中で親友と呼べる人に出会える、その第一歩がこの転地学習となるよう、みなさん積極的に参加して下さい！

日時

令和元年5月10日（金）～11日（土）

場所

養父市八千高原（宿泊）パークホテル白樺館

活動プログラム

初日 5月10日（金）

予定よりも早く八千高原に到着。20分繰り上げての活動となりました。雲一つない爽やかな高原を、縦横無尽に歩き回る生徒たち。鉢伏山1221mの山頂まで登るコースはかなりハード、元気いっぱいオリエンテーリングを楽しんでいますとはいかなかったようです。ゴール地点で飲んだスポーツドリンクが、オリエンテーリングでほってった体にしみわたりました。「ぷっはーっ！」とあげる声、キラキラの笑顔、これぞ転地学習の醍醐味でした。5月の高原とは思えぬほどの暑さでした。

宿舎へ帰り、汗をお風呂で流し、しばしのリラックス。カードゲームなどでくつろぎました。夕食は、鴨鍋を楽しくお腹いっぱいいただきました。

夜は、メインイベント「キャンプファイヤー」で大盛り上がり！芸達者な有志の出しもので、お腹を抱えて笑いました。

最終日 5月11日（土）

この日も絶好の転地学習日和に恵まれました。大きく体調を崩す生徒もなく、朝は参加者全員そろって集いを行いました。

このあとは、部屋の片づけをして、カレー作りです。高原の空気を胸いっぱい吸い込んで、頑張りました。飯盒炊さんで作ったカレーライス。えらく香ばしい匂いに誘われて覗き込むと、美味しそうなおこげ！中には焦がしすぎかという班もありましたが、あちらこちらから、「めっちゃ美味しい！」「最高！！」という声が聞こえてきました。全員おいしくいただきました。ご馳走さまでした。

只今、「来た時よりも美しく」の合言葉のもと、鍋と飯盒を「必死のぱっち」で磨いてる子どもたちの姿が印象的でした。

最後は、学校に帰っての解団式。さすがに疲れは隠せませんでした。充実感あふれる「笑顔」がいつまでも心に残ります。

「思い出」





転地学習を振り返って～生徒感想（抜粋）～

- ・新しい経験や新しい友達を得ることができ、「友情徹底～一步一步着実に～」という目標にふさわしい転地学習となりました。
- ・人生で初めてあんなに高い山に登りました。…登りたくないなど思ってしまったりしました。でも、その分登り切ったときの達成感は大きかったです。
- ・オリエンテーリングなど、友達との協力が必要なところは、友達同士で「大丈夫？」や「ちょっと休もうか」などの声かけができていて、目標である「友情徹底」が徹底できていました。
- ・たくさんの活動を楽しむことができたのは、学年全員が時間をしっかり守って、班のみんなもやるべき仕事を行うことができたからだと思います。私は転地学習で、限られた時間を大切にして、自分のやることをしっかり考えて動くことができると、楽しい時間が増えて、みんなの仲がもっと深まると分かりました。だから、この学んだことを生かして、もっと時間を大切にし、自分の仲間をもっと増やしていきたいです。
- ・転地学習では集団行動における一人一人の態度を学びました。例えば、「集合時間を守る」「静かに移動する」「点呼を正確に行う」ことだと知りました、大勢で活動するときは集団のなかですべきことを考えて動いていきたいです。
- ・私は、この転地学習で、行く前と後では変わったと思います。友情徹底～一步一步着実に～というこの転地学習の目標を、私は達成することができました。今まであまり話さなかった子とも、この転地学習でたくさん話しました。また、話していた子とは、もっとたくさん話すことができました。この転地学習でクラスの子との仲が深まりました。
- ・この2日間で、みんなの間が少しは近くなったなと思いました。これから教室の中でも少しでも友達が増えたらいいなと思いました。また友情を深め合える場面があったらいいなと思いました。

おわりに

但馬・鉢伏高原の自然の中でチャレンジ！

～自ら考え、話し合い、深く学んだ2日間～

中学校に入学して初めての宿泊行事、鉢伏高原を舞台とする1泊2日の転地学習が終わりました。兵庫県の小学校では自然学校（4泊5日）が、また他の都道府県でもさまざまな形で宿泊体験が行われています。1年生は、小学校の時のハードな宿泊体験を成し遂げたことを「自信」にして、「誇り」をもって中学校の転地学習に臨みました。そして、3つの目標「共同生活の体験を通じて、仲間づくりを進める。」「集団の中で適切な判断力と行動力を養う。」「自然に親しむ。」を見事に達成してくれました。

鉢伏高原では、新しい仲間とともにいろいろなプログラムにチャレンジしました。自然のなかで、自ら考え（主体的に）、仲間と話し合い（対話的に）、体験的に学びを深めることができました。子どもたちの頑張りを、心から褒め称えたいと思います。2日間という極めて短い期間でしたが、濃密な時間を但馬の地で過ごし、大きく成長しました。

保護者の皆様には、準備などで大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、今回の転地学習でお世話になったすべての方々に、心からお礼申し上げます。

ゆりのき台中学校 校長 大野正人



(転地学習のしおり 挿絵から)